

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域コミュニティサイト運営事業【22新規】	会計	一般会計	事業No.	3	施策順No.	71-002
		事業種別	政策・重点	予算科目	2-1-5-10-8		
政策	7 自立・連携した地域づくり					課等名	地域づくり・庶務課
施策	71 地域情報・課題の相互理解の推進	事業期間	開始	22	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民及び、市内の各種団体						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		飯田市の人口(人)		106630	105691	105036			
意図		各種団体の活動内容等の地域情報を手軽に入手できるようにする。							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		「地域コミュニティサイト」登録団体数			0	75	52	150	B
		「地域コミュニティサイト」年間アクセス数			0	20000	17111	30000	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		サイトの認知度を高めることが重要であるため、年間アクセス数により目標達成度を決定した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット上に「飯田市地域コミュニティサイト」を開設する。</li> <li>システム構築は飯田市が行い、運営は公募により決定した団体(法人)が行う。</li> <li>「地域コミュニティサイト」に掲載された情報は、システム連携によりCATVのデータ放送からも入手可能にする。</li> <li>「地域コミュニティサイト」の構築は平成21年度に行ったため、22年度より「運営事業」に事業名を変更。</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1.4月1日より試験運用を開始し、6月1日より本格運用に入った。 2.「地域コミュニティサイト」の登録団体募集。 3.サイト利用団体向け説明会の開催。 4.「地域コミュニティサイト活用委員会」の開催。	2.登録団体数 3.開催回数 4.開催回数	2.52団体 3.10回 4.1回
23年度実施計画	1.協定に基づき運営団体と協力してサイトの運営を行う。 2.「地域コミュニティサイト」の登録団体募集。 3.サイト利用団体向け説明会の開催。 4.「地域コミュニティサイト活用委員会」の開催。	2.登録団体数 3.開催回数 4.開催回数	2.目標150団体 3.10回 4.1回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		723	654	950		
計(A)		723	654	950		
正規職員所要時間			400			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			1,430			
トータルコスト A+B			2,084			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを活用した地域情報の発信を、行政が支援すべきであるとの意見がある。</li> <li>高齢者に配慮した取り組みを行うべきとの意見がある。</li> </ul>
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域情報・課題の相互理解のための支援を行う。	施策の成果指標又はムトス指標	地域の現状(地域の課題、地域活動の内容)を共有できた住民の割合(%)
				0.617
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	各種団体の活動内容等の地域情報をインターネットやケーブルテレビから手軽に入手できるようにすることにより、市民が地域の現状を共有し、相互理解がすすむ。		
	後期に向けた課題	地域内でのサイトの認知度を高め、利用促進を図る。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	まちづくり委員会、公民館、NPO等各種団体に対してサイトの説明及び紹介を行った。		
	後期に向けた課題	地域内でのサイトの認知度を高め、利用促進を図る。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題	地域内でのサイトの認知度が高まり、利用負担金や広告収入が増加すれば、行政の負担を減らすことができる可能性がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	民間企業等が提供する同種のサービスの多くが無料であることから、現行より高い負担金額を設定することは困難である。		
	後期に向けた課題	地域内でのサイトの認知度を高め、利用促進を図ると同時に、利用しやすい負担金額の設定について検討する必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	サイトの運営を公募によって決定した民間団体(特定非営利活動法人 くらりnet)が担当している。		
	後期に向けた課題	サイトの運営が、より自主的に実施できるよう行政は支援を行う。		
全体を通じて	4年間の振り返り	平成21年度にサイトの構築を行い、22年度より運営を開始したが、利用者は目標を下回っている。		
	後期に向けた課題	地域内でのサイトの認知度を高め、利用促進を図る。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------